

季刊 旬のブンカが集うコミュニティマガジン

ブンカ

BUNKA

vol. 100
2026
spring

旬の文化が集うコミュニティマガジン 季刊
ブンカ
BUNKA vol.100 2026.3.15

ふくい文化創造センターのご案内
第4回 ふくい文化創造センター 活動ニュース



発行/公益財団法人 福井県文化振興事業団 福井県立音楽堂(ハーモニーホールふくい)
〒918-8152 福井市今市町40-1-1 ☎0776-38-8288 https://www.hhf.jp

公益財団法人
福井県文化振興事業団

「ハーモニーホールふくい」コンサート情報
2026.4 - 2027.3

一般発売日 3月7日(土)	5.1㊦ 19:00開演 5.6㊦ 14:00開演	ガルガンチュア音楽祭 in ふくい アリスト・シャム ピアノ・リサイタル 小松長生指揮 ミュンヘン・ゲルトナープラッツ州立劇場管弦楽団 ヴァイオリン:千住真理子
一般発売日 3月28日(土)	5.30㊦ 14:00開演 6.7㊦ 14:00開演 6.20㊦ 14:00開演	チェンバロの鬼才! マチエイ・スクシェチュコフスキ チェンバロ・リサイタル 金子三勇士 ピアノ・リサイタル <会場:美浜町生涯学習センターなびあす> 原田慶太楼指揮 東京交響楽団 ピアノ:牛田智大
一般発売日 4月25日(土)	6.27㊦ ①11:00開演 ②14:00開演 7.5㊦ ①10:00開演 ②12:00開演 7.11㊦ 15:00開演 7.17㊦ 19:00開演	バリアフリーコンサート2026 ~音楽でめぐる 小さな大冒険~ ハーモニーびくにつく ~50分間 世界一周!~ Voctave ヴォクターヴ 夢の国のヴォイス・オーケストラ 越のルビープロジェクト 泉谷更紗 ヴァイオリン・リサイタル
一般発売日 5月23日(土)	7.14㊦ 13:30開演 8.8㊦ 19:00開演 8.22㊦、23㊦ 8.29㊦ 16:30開演	第37回 ハーモニー ブンカさろん ~イタリア・バロック芸術の世界~ 若い芽コンサート2026 おとらぼ 現代音楽ラボ&コンサート(22(土)),ファイナル・コンサート(23(日)) <会場:福井市にぎわい交流施設「ハビリンホール」> キンボー・イシイ指揮 NHK交響楽団演奏会 福井公演 ヴァイオリン:クロエ・チュア
一般発売日 6月20日(土)	9.13㊦	熊川宿若狭芸術祭 近藤 薫と仲間たちによる おむすびコンサート <会場:バレア若狭>
一般発売日 7月18日(土)	10.4㊦ ①11:00開演 ②14:00開演 10.18㊦ 14:00開演 11.8㊦ 14:00開演	秋の子ども音楽会「ステージできく」コンサート(仮題) 越のルビープロジェクトSpecial お話と歌でたどる愛の悲劇 — オペラハイライト『蝶々夫人』 ファビオ・ピオンディ指揮 エウローパ・ガランテ 華麗なるイタリアンバロックの世界
一般発売日 8月29日(土)	10.6㊦ 13:30開演 11.1㊦ 15:00開演 11.21㊦ 11.28㊦ 14:00開演	第38回 ハーモニー ブンカさろん ~『皇帝』を“弾く”ということ — 強さと静けさのあいだで~ 半崎美子コンサートツアー2026~地球へ~ 大人のくつろぎ音楽堂フェス「JAZZ井」 越のルビープロジェクト 嶋川茉友子 クラリネット・リサイタル クラリネットを愛したドイツの音楽家たち
一般発売日 9月19日(土)	12.6㊦ 14:00開演 12.12㊦ 15:00開演	マイスターシリーズI 郷古 廉&大木麻理 ヴァイオリン&オルガンコンサート ケルティック・クリスマス2026 アイリッシュ・トラッドバンド アルタン with ダン・ステイシー
一般発売日 10月10日(土)	12.15㊦ 13:30開演 1.10㊦ 13:30開演 1.17㊦ 15:00開演	第39回 ハーモニー ブンカさろん ~ドヴォルザークの眼差し — 故郷ボヘミアからヨーロッパ、そして新世界アメリカへ~ ニューイヤーコンサート2027 トマーシュ・ネトピル指揮 プラハ交響楽団 ピアノ:金子三勇士 マイスターシリーズII 近藤 薫プロデュース リヴァラン弦楽四重奏団 +1 (プラス・ワン)福井公演
一般発売日 11月14日(土)	2.13㊦ 14:00開演	マイスターシリーズIII ライナー・キュッヒル ヴァイオリン・リサイタル ピアノ:加藤洋之 ~ベートーヴェン没後200年記念~
一般発売日 12月19日(土)	3.6㊦ 14:00開演	マイスターシリーズIV トリオAXIS feat.石田泰尚 ピアノ:高橋優介 ~ドヴォルザーク 故郷への想い~
整理券配布開始日 2027年1月23日(土)	3.22㊦ 15:00開演	福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー 成果発表会

※各種発売日は右記の通りです。特別協賛会員先行:一般発売の4日前 友の会会員先行:一般発売の3日前 一般発売日:記載日
※原則として、就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。
※公演情報は2026年3月5日現在のものであり、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



チケットのご予約・お問い合わせ
ハーモニーホールふくいチケットセンター
TEL.0776-38-8282
[10:00~12:00/13:00~17:00・休館日を除く]

チケットはネットから
365日いつでも
購入できます!



ホームページ
https://www.hhf.jp/

JR・ハビラインをご利用の場合

福井駅から福井鉄道福武線に乗り換え、もしくは福井駅・鯖江駅からタクシーで15分。

お車で越しの場合

公演当日は、駐車場の混雑が予想され、駐車に時間かかる場合がございます。
開演後は進行の都合上ご入場をお待ちいただく場合がございます。予めご了承ください。

ハーモニーホールふくい(福井市)



アーティストが絶賛する
最高水準の音楽ホール

「ハーモニーホールふくい」の愛称で知られる福井県立音楽堂は、福井の芸術文化の中核施設として1997年に開館。北陸初の音楽専用ホールとして注目を集め、数々の名ステージを生み出してきました。

大ホールは木を基調としたシューボックス型で、優れた音響性能は一流音楽家から高い評価を得ています。内装材の乾燥を待つて設置されたのが、ステージ背後の2階席中央にあるパイプオルガン。ドイツの名門カー・シュツケ社が、ホールの響きが成熟したのを見届けてから設計に着手、組立てと整音作業に約半年間をかけ2004年に完成しました。お披露目のリサイタルはウエストミンスター大聖堂の首席オルガン奏者が務め、現在もさまざまなコンサートで多彩な音を響かせています。

客席に座り見上げると、意匠を凝らした天井に輝くシャンデリア。身を置くだけで夢の世界に誘ってくれる、音楽ファンならずとも訪れたい空間です。

※表紙の写真は、上下左右360度を一度に撮影出来る特殊なカメラで撮影した写真を画像処理したものです。



大屋根は風雪に耐える福井の伝統民家をイメージしている。67,000㎡の緑豊かな敷地内には、四季折々の花が咲く。

ハーモニーホールふくい
【福井県立音楽堂】
場所/福井市今市町40-1-1
TEL/0776-38-8288
(9:00~12:00 / 13:00~17:00・休館日を除く)
開館時間/9:00~22:00
休館日/月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
アクセス/
●北陸自動車道 福井IC、鯖江ICから車約15分
●福井鉄道福武線「ハーモニーホール」駅下車徒歩3分

CONTENTS

- 1 今号の表紙
- 2 TOP INTERVIEW アートと私 八木誠一郎氏(公益財団法人 福井県文化振興事業団 理事長)
- 3 Interview オーケストラが奏でる 色彩のシャワーを届けたい 指揮者 原田慶太楼氏
- 5 「ハーモニーホールふくい」自主公演情報
- 9 2026年4~6月開催「ハーモニーホールふくい」コンサート情報
- 10 越のルビーアーティスト 竹内真紀氏(ピアニスト)
- 11 ふくい文化創造センターのご案内 第4回 ふくい文化創造センター 活動ニュース
- 13 アートシーン 〈キーパーソン〉「うらのこうの」代表 田上夏伊さん
(文化活動に対する支援制度のご紹介) / 〈アートプロジェクト インフォメーション〉
- 15 寄稿 彫刻家・雨田光平と高田博厚 文化の中に本質を見出す二人 石堂裕昭氏(福井市美術館学芸員)
- 16 古きを訪ねて 合葉の神祭り(坂井市)
- 17 Essay 考え続ける文化を手放さないこと 文 朝倉由希氏
- 18 Information

TOP INTERVIEW
アートと私

多様な文化芸術が息づく福井を創造する。

事業を通じ実感した
文化振興事業団の役割

福井県文化振興事業団の「文化芸術を多様な形で県内に広めていく」という趣旨に共感し、理事長に就任してから5年。「福井県を元気にしたい」という想いでさまざまな文化活動に励んでおられる方々に出会い、皆さんの心の豊かさを感じました。当事業団では、オーケストラなどの演奏家を招き、ハーモニーホールふくいで多彩な公演を開催する一方

で、学校や病院、福祉施設などに出向くアウトリーチ公演を実施。演奏家の方々は、普段と異なる環境の中でも最高のパフォーマンスで、集まった人々の感動を誘います。子どもたちやホールへの来場が困難な方に演奏をお届けできる、当事業団ならではの事業だと思っています。

2022年にハーモニーホールふくいの開館25周年記念公演として開催したミュージカル「雪の女王」は今年2月に再演を行い、オーディションで選ばれた県民も参加した、福井発のミュージカルとして大きな成果を残したと思っています。皆が気持ちひとつにして物語を作り上げ、福井らしい舞台が展開できました。

「ふくい文化創造センター」の始動と「文化を掘り起こす」姿勢

理事長になって、企業にとつての文化活動は単なる経済効率だけでなく、社員の心の豊かさや地域への根ざし方に関わるものになっていると感じてきています。2025年4月、当事業団内に「ふくい文化創造センター」を開設。県が策定した「福井県文化振興プラン」を推進する拠点として、文化活動の担

手の皆さんの相談に応じています。

私は、文化は上から与えるのではなく、各地に埋もれている「宝」を掘り起こすことが重要だと考えています。文化活動においては、参加者が「楽しい」と感じ、自分たちの変化という「小さな成功体験」を共有することが大切だと思います。例えば、福井商工会議所が中心に行う夏祭りの民謡大会は、参加者が増え続けている好例です。足元にある伝統の価値に県民自らが気づくことが、文化振興の第一歩です。

私たちは今後も、新しい挑戦を恐れず体験を積み重ね、その過程と結果を公開し、「周囲はすべて師である」という謙虚な姿勢を持ちながら、県民の皆様と共に文化振興を進めてまいります。



やぎ・せいいちろう●1959年福井市生まれ。1985年にフクビ化学工業(株)に入社。2002年から代表取締役社長を務め、2024年に代表取締役会長CEOに就任。2021年より福井商工会議所会頭に就任。2008年より(公財)福井県文化振興事業団の理事を務め、2021年に理事長就任。



今年2月20日から4日間にわたり開催したミュージカル「雪の女王」。メインキャストや57名の県民アンサンブル、オーケストラ、スタッフなど、総勢約100名による福井発の創造の舞台を多くのお客様へお届けしました。

指揮者

原田慶太

Keitaro Harada

オーケストラが奏でる
色彩のシャワーを届けたい



はらだけいたろう ●日欧米を中心に目覚ましい活躍を続けている期待の俊英。東京交響楽団正指揮者(2026年3月まで)、愛知室内オーケストラ首席客演指揮者兼アーティストック・パートナー、サヴァンナ・フィルハーモニック音楽&芸術監督、ショルティ財団トップとなるコンダクター賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2025年7月に米国デイトン・フィルハーモニック管弦楽団音楽・芸術監督に就任。
オフィシャル・ホームページ
kharada.com/ @KHconductor

日欧米を中心に大活躍する指揮者の原田慶太さんが、6月、東京交響楽団を率いて来福します。日本人指揮者としては破格のスケールの持ち主である原田さんに、指揮者という仕事について、また今回の福井公演の聴きどころなどをじっくり伺いました。

ミュージカルに魅せられオペラで磨かれた指揮術

子どもの頃からミュージカルが好きで、ミュージカルのプレ

イヤーになりたいと思っていた原田さん。高校はアメリカの芸術高校に進みますが、そこでの出会いが、指揮者への道を進むきっかけとなったそうです。

「高校の吹奏楽の先生がフレデリック・フェネルで、彼のもとで演奏した時に指揮者っていいな、って思ったんです。その後、ラジオで偶然聴いた『ラ・ボエーム』に涙が出るほど感動してオペラに興味を持つようになり、大学1年の時に貯金をしてニューヨークのメトロポリタン歌劇場に行きました。そこで聴いたジェームズ・レヴァインの指揮に感動して絶対この人に習いたいと思い、その夢が叶ったのが24歳の時。タングルウッド音楽祭でレヴァインのアシスタントを務めました。だから20代はほとんどオペラの世界にいたんです」

物語性のある音楽で福井のお客様を魅了する

総合芸術であるオペラの指揮が「いちばん難しい」と語る原田さん。オペラの経験があるかど

うかで、交響曲や協奏曲の指揮にも違いが出てくると思います。

「僕はシンフォニーを振っていてもオペラ的で、常に物語を考えているといわれます。今回の福井公演のプログラムでムソルグスキーの『展覧会の絵』を選んだのも、美術館を歩いて絵画を見ていく、という物語性のある音楽だから。元々はピアノ曲ですが、今回はラヴェルによるオーケストラ編曲版をお贈りします。ラヴェルは楽器の可能性を最大限に発揮する書法に長けた作曲家で、この作品も色彩豊かなオーケストレーションが特徴。ぜひその「色彩のシャワー」を福井の皆さんにも味わっていただきたいです」

そのラヴェルが書いた「ピアノ協奏曲」のソリストには、牛田智大(ともはる)さんが登場します。

「牛田君とは、1年以上前からラヴェルの協奏曲をやろうと話していたんです。彼とはこれまで何回か共演しています。最近ヨーロッパでも勉強するようにになってから音が変わ

り、自分のアイデンティティをより強化しているように感じています」

福井公演残る1曲は、映画「スター・ウォーズ」の組曲。やや意外な選曲という気もしますが、「『スター・ウォーズ』組曲も各曲がキャラクターを描いており、『展覧会の絵』との組み合わせは面白いと考えました。プログラム全体の裏テーマは「色」で、ラヴェルとジョン・ウィリアムズの音色は非常にマッチします。さらに、ムソルグスキー、ラヴェル、ジョン・ウィリアムズという3人のピアノリストが繋がるという隠れテーマもあるんですよ!」

親密な関係を築いてきた東響と生み出す音色

今回、ハーモニーホールふくいの主催公演には初めての出演となる東京交響楽団は、原田さんにとっては「日本におけるオーケストラ・ファミリー」だそうです。

「2021年から正指揮者を務めてきて、今では私たちにし

か出せない音色があると自負しています。クラシック音楽以外にもこれまで様々な革新的なプロジェクトに挑戦しており、「あ・うんの呼吸」で通じ合えるこのオーケストラのサウンドを、福井に届けられることがとても嬉しいです」

構成・文/室田尚子
(音楽評論家)



2025年3月22日(土)「東京交響楽団が贈る かわさきシンフォニー・ポップス Songs and Dances」
会場：ミュージカルシンフォニーホール

協賛: 福井信用金庫

6/20(土)

原田慶太指揮 東京交響楽団 ピアノ:牛田智大

大ホール/開場 13:15 開演 14:00
S席・車いす席 ¥7,000 A席 ¥6,000 B席 ¥5,000 バックシート ¥3,000 (小〜大学生:半額)
出演/指揮:原田慶太様、ピアノ:牛田智大、管弦楽:東京交響楽団
曲目/J.ウィリアムズ:「スター・ウォーズ」組曲
I.スター・ウォーズ メイン・タイトル、III.帝国のテーマ(ダース・ベイダーのテーマ)
V.王座の間とエンド・タイトル
ラヴェルピアノ協奏曲ト長調
ムソルグスキー(ラヴェル編):展覧会の絵
(共催:福井テレビ) ※詳細はP.5へ

美しく、華やかな名曲を 原田&東響で聴く喜び

2025年から米国デイトン・フィルハーモニック管弦楽団音楽・芸術監督に就任するなど、国際的活躍を続ける指揮者・原田慶太楼が、近年次々に意欲的なプログラムに挑戦し日本のオーケストラの中でますます存在感を増している東京交響楽団を率いて再来福します。

演奏会は、映画「スター・ウォーズ」の組曲からスタート。クラシック音楽だけでなくさまざまなジャンルの音楽に精通する原田ならではの選曲です。

美しい第2楽章を、華やかで熱狂的な第1・第3楽章ではさんでいるのが特徴。ジャズの要素も盛り込まれた、現代的でありながら聴きやすい1曲です。

6/20(土) 協賛: 福井信用金庫 原田慶太楼指揮 東京交響楽団 ピアノ: 牛田智大

大ホール/開場 13:15 開演 14:00
S席・車いす席 ¥7,000 A席 ¥6,000 B席 ¥5,000 バックシート ¥3,000 (小~大学生:半額)
出演/指揮:原田慶太楼、ピアノ:牛田智大(ともはる)、管弦楽:東京交響楽団
曲目/J.ウィリアムズ「スター・ウォーズ」組曲から
I. スター・ウォーズ メイン・タイトル
III. 帝国のテーマ(ダース・ベイダーのテーマ)
V. 王座の間とエンド・タイトル
ラヴェルピアノ協奏曲 ト長調
ムソルグスキー(ラヴェル編)展覧会の絵

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 3/24(火) 友の会: 3/25(水)
一般 3/28(土)



指揮: 原田慶太楼 ©MASATOSHI YAMASHIRO
ピアノ: 牛田智大 ©Ariga Terasawa



管弦楽: 東京交響楽団

きながら絵を見ているような気分にする描写的な音楽で、原田&東響のコンビでこの名曲を聴けるのは嬉しい限り。絶対に聴き逃せません。

新世代の名手たちが集う 今年も福井で鍵盤音楽を味わおう

大好評を博した2025年の「ピアノ・スター」シリーズに引き続き、2026年も話題の鍵盤楽器の名手たちが、福井でその素晴らしい演奏を聴かせてくれます。

5月1日にハルモニホールふくいの小ホールで開かれるのは、ゴールデン



ピアノ: アリスト・シャム

ウィークに金沢市で行われるガルガンチュア音楽祭のサテライトコンサート。アリスト・シャムは2025年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで金メダルと聴衆賞を受賞したピアニスト。香港出身で3歳の時からピアノを始め、アメリカの名門ハーバード大学とニューヨークランド音楽院で学びました。ロンドン交響楽団と共演するなど、今、世界から注目を集めています。

今回はベートーヴェンのピアノ・ソナタ「月光」やショパンの「即興曲」、ラヴェル「夜のガスバール」といった王道の名曲を披露する予定。60分で2千円という手軽な値段も魅力です。

5月30日には新世代の「チェンバロの鬼才」として話題のマチエイ・スクシエ

今回はベートーヴェンのピアノ・ソナタ「月光」やショパンの「即興曲」、ラヴェル「夜のガスバール」といった王道の名曲を披露する予定。60分で2千円という手軽な値段も魅力です。



チェンバロ: マチエイ・スクシエ



ピアノ: 金子三勇士

で、世界トップクラスのチェンバロ音楽に包まれてみてください。そして当日は終演後にワークショップを開催予定。こちらもどうぞお楽しみください。

6月7日には、美浜町生涯学習センターなびあすに、金子三勇士が登場します。世界20カ国で活躍し、バルトーク国際コンクール優勝の実績を持つ金子は、教育プログラムや子どもたちへの演奏活動なども熱心に行なっています。今回もモーツァルト「トルコ行進曲」やショパンの前奏曲「雨だれ」、リスト「ラ・カンパネラ」などおなじみの名曲を中心に、トークも交えた親しみやすいステージでお贈りする予定。金子は来年のハルモニホールふくいで、ニューイヤール・コンサートにソリストとして登場することも決まっています。日本を代表する名手によるアット・ホームなリサイタルに足を運んでみてはいかがでしょうか。

協賛: 関西電力 power with heart

金子三勇士 ピアノ・リサイタル 6.7日

13:15開場 14:00開演
会場/美浜町生涯学習センターなびあす
全席指定・車いす席 ¥2,000(小~大学生:半額)
出演/ピアノ:金子三勇士
曲目/モーツァルトトルコ行進曲
リスト:ラ・カンパネラ ほか

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 3/24(火) 友の会: 3/25(水)
一般 3/28(土)

チェンバロの鬼才! マチエイ・スクシエ チェンバロ・リサイタル 5.30日

13:15開場 14:00開演/小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,000(小~大学生:半額)
出演/チェンバロ:マチエイ・スクシエ
曲目/J.S.バッハ:フランス組曲 全曲

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 3/24(火) 友の会: 3/25(水)
一般 3/28(土)

協賛: ますも証券

ガルガンチュア音楽祭 in ふくい アリスト・シャム ピアノ・リサイタル 5.1日

18:15開場 19:00開演/小ホール
全席指定・車いす席 ¥2,000(小~大学生:半額)
出演/ピアノ:アリスト・シャム
曲目/ベートーヴェンピアノ・ソナタ 第14番「月光」
ショパン:即興曲 第2番、第3番 ほか

※60分(休憩なし)プログラム
(企画制作:ガルガンチュア音楽祭実行委員会)
チケット発売中

8/29(土) キンボー・イシイ指揮 NHK交響楽団演奏会 福井公演 ヴァイオリン:クロエ・チュア

大ホール/開場 15:45 開演 16:30
出演/指揮:キンボー・イシイ、ヴァイオリン:クロエ・チュア、管弦楽:NHK交響楽団
(主催: NHK福井放送局、NHK交響楽団)
※詳細はNHK福井放送局、ならびにNHK交響楽団のWEBサイトでお知らせします。

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
一般 5/23(土)

5/6(水・休) 小松長生指揮 ミュンヘン・ゲルトナー・ブラッツ州立劇場管弦楽団 ヴァイオリン:千住真理子

大ホール/開場 13:15 開演 14:00
S席 ¥13,000 A席 ¥11,000 B席/バックシート・車いす席 ¥8,000 (小~大学生:半額)
出演/指揮:小松長生、ヴァイオリン:千住真理子
管弦楽:ミュンヘン・ゲルトナー・ブラッツ州立劇場管弦楽団

曲目/メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲、ブラームス:交響曲 第1番 ほか
(主催: 福井テレビ)
チケット発売中



ヴァイオリン：泉谷更沙

福井を愛するヴァイオリニストが王道のクラシック音楽をお届け

「越のルビープロジェクト」は、厳しい審査に合格した「越のルビーアーティストバンク」に登録して3年以内のアーティストが、自らプロデュースする企画です。これまで、様々な演奏家が工夫を凝らした演奏会を開催してきました。今年は、現在関西フィルハーモニー管弦楽団の第1ヴァイオリン奏者を務める泉谷更沙が、王道のヴァイオリン作品をじっくり聴いていただくコンサートを開催します。



ピアノ：鈴木重子

泉谷は福井市生まれ、3歳から福井市内でヴァイオリンの勉強をスタート。その後、京都市立芸術大学、相愛大学音楽学部で学びました。現在は関西を中心に活動を展開していますが、両親ともに福井出身で、また親戚も多く在住している福井への深い愛情が、今回の企画に結びつきました。ラヴェル「ツィガース」などの華やかな名曲から、ブラームスの重厚な名作まで、愛する福井のみなさまに聴いていただきたい。福井から羽ばたいていったアーティストの「今」を存分に堪能ください。

協賛：福井新聞社 FBC 福井テレビ

越のルビープロジェクト
泉谷更沙
ヴァイオリン・リサイタル
7.17 金

18:15開場 19:00開演/小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,000(小~大学生:半額)
出演/ヴァイオリン:泉谷更沙、ピアノ:鈴木重子
曲目/モーツァルト:ヴァイオリンソナタK.301
サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ 作品11-1
ラヴェル:ツィガース
ヒンデミット:ヴァイオリンソナタ 作品11-1
ブラームス:ヴァイオリンソナタ 第3番 作品108

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 4/21(火) 友の会: 4/22(水)
一般 4/25(土)



ヴォーカルアンサンブル：ヴォクターヴ

夢の国からやってくる 奇跡のアカペラグループ

Voctave(ヴォクターヴ)は、2015年にプロデューサー兼テノール歌手のジェイミー・レイを中心にフロッリダで結成された11人組のアカペラ・グループ。ミュージカルやゴスペル、ポップスなどさまざまなルーツを持つメンバーは、フロリダにあるディズニー・ワールドの人気アカペラ・アトラクション「ヴォイス・オブ・リパティ」で出会い、意気投合しました。YouTube動画再生数1億6000万回以上を記録、その楽曲やアルバムが「iTunes」や「Spotify」で1位を獲得するなど、ヒットを連発。5オクターヴにわたる広い音域と圧倒的な歌唱力を持つヴォクターヴは、ヴォイス・オーケストラと呼ばれ、世界中から高い評価を受けています。

そんなヴォクターヴがこの夏、ハーモニーホールふくいにやって来ます！コンサートは、ディズニー・メドレーを中心に映画音楽やミュージカルのナンバーで構成。ジェイミー・レイによるオリジナル・アレンジも注目ポイント。11人が紡ぐ華やかで美しいアンサンブルは、大ホール全体を夢の国に変えてくれることでしょう。

協賛：福井新聞社

Voctave ヴォクターヴ
夢の国のヴォイス・オーケストラ

7.11 土

14:15開場 15:00開演/大ホール
全席指定・車いす席 ¥6,000
(小~大学生:半額)

特別協賛会員 2割引

出演/ヴォーカルアンサンブル:ヴォクターヴ
曲目/ディズニーメドレー
映画・ミュージカルナンバー ほか



チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 4/21(火) 友の会: 4/22(水)
一般 4/25(土)



ピアノナビゲーター：高橋かほる



ソプラノ：新海華子

耳と心を育む 人気の音楽教育プログラム

楽しみながら鑑賞マナーが身につくと話題の人気シリーズ。毎年テーマを変えてヴァリエーション豊かにお届けするのでファンが多く、皆様の期待にお応えし、今回も2回開催。終演後にはオルガン探検ツアーも開催します。

協賛：(公財)げんでんふれあい福井財団

ハーモニーぴくにっく
~50分間 世界一周!~
7.5 日

2回公演 ①9:30開場 10:00開演 ②11:30開場 12:00開演/大ホール
全席指定・車いす席 ¥1,000(0歳~高校生:半額)
出演/ピアノ:ナビゲーター:高橋かほる、ソプラノ:新海華子
ヴァイオリン・ヴィオラ:山口梨恵、ホルン:長谷川陽一、オルガン:長谷川佳子
曲目/エルガー:威風堂々、ホルスト:組曲「惑星」から「木星」 ほか

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 4/21(火) 友の会: 4/22(水) 一般 4/25(土)



コーディネーター:ピアノ:竹内真紀



ソプラノ：東 園

ここは音楽の自由特区 みんなで音楽を感じよう!

障がいのある人もそうでない人も、誰もが楽しめるバリアフリーコンサート。ステージ上に設けられた客席で、アーティストが奏でる音楽を身近に感じることが出来ます。思わず声が出たり、体を動かしても大丈夫。ここでは自由に音楽を楽しんでください。2回公演なのでお好きな時間帯をお選びいただけます。

協賛：株式会社増田園

バリアフリーコンサート2026
~音楽でめぐる 小さな大冒険~
6.27 土

2回公演 ①10:30開場 11:00開演 ②13:30開場 14:00開演
大ホールステージ
ステージ席(全席自由) ¥1,000(0歳~高校生:半額)
障がい者手帳等をお持ちの方 ¥800(0歳~高校生:半額)
出演/コーディネーター:ピアノ:竹内真紀
ソプラノ:東 園、ヴァイオリン:松谷由美、マリンバ:平岡愛子

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 4/21(火) 友の会: 4/22(水) 一般 4/25(土)



ピアノ：上野山幹空

羽ばたけ! 未来のヴィルトゥオーゾたち

公開オーディションで合格したメンバーが出演する「若い芽コンサート」。今年は県外の音楽高校で学ぶ2人を加えた3人の福井県出身の高校生が、憧れの舞台上に立ちます。

主催：福井新聞社

若い芽コンサート2026
8.8 土

18:15開場 19:00開演/小ホール
全席自由・車いす席 ¥2,000(小~大学生:500円)
出演/ピアノ:上野山幹空、奥東愛未、ヴァイオリン:土田和奏
フェスティバル・カルテット(ヴァイオリン:松谷由美、西川茉莉奈、
ヴィオラ:笠川 恵、チェロ:荒井 結)

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 5/19(火) 友の会: 5/20(水) 一般 5/23(土)

べべ・ラボ ~小さな耳のための音の世界~ 8.18 火・19 水
会場/大ホールエリア 参加料/1回あたり ¥2,000(乳幼児のみ、付き添いの保護者無料) 定員20組/1回 各日2回開催

キッズ・ラボ ~音であそび、音でつながる未来への創作ワークショップ~ 8.20 木・21 金・23 日
会場/大ホールエリア 参加料/¥3,000(小学校中・高学年対象:全日程参加料) 定員20名/全回参加 各日2回開催 ※8/23日「フィナルコンサート」への出演あり

現代音楽ラボ ~未知の音との出会い方~ 8.22 土
会場/福井市にぎわい交流施設「ハピリンホール」 料金/全席指定 ¥3,000(小~大学生:半額) 18:00開演予定

ファイナル・コンサート ~音でひろがる、世界とつながる~ 8.23 日
会場/福井市にぎわい交流施設「ハピリンホール」 料金/全席自由 ¥500 15:00開演予定

おとラボ
出演/構成:フルート:大久保彩子、打楽器:オリヴィエ・モレル



過去公演の様子
チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 5/19(火) 友の会: 5/20(水) 一般 5/23(土)

ハーモニーホールふくい コンサート情報

CONCERT INFORMATION

[2026.4.5.6]

4月

4 福井大学医学部管弦楽団
第40回記念定期演奏会
●大ホール ●13:30開演
●全席自由:500円(小学生以下無料)
◎福井大学医学部管弦楽団 大野
☎080-6996-4083

Brass Band ROAR!
15th Concert
●小ホール ●13:30開演
●全席自由:500円(未就学児無料)
◎Brass Band ROAR! 稲木
☎090-6277-3794

5 第36回 福井県立羽水高等学校
吹奏楽部・合唱部・邦楽部
定期演奏会
●大ホール ●13:30開演
●全席自由:300円(大学生以下無料)
◎福井県立羽水高等学校
☎0776-36-1678

11 清塚信也
47都道府県ツアー 2025-2026
(土) ●大ホール ●13:30開演
●全席指定:6,000円
※販売しました
◎サンライズプロモーション北陸
☎025-246-3939

18 福井新聞 ささらプレゼンツ
川井郁子XNAO with 野津永恒
Special Concert
～Violin&邦楽・Violin&Piano～
●大ホール ●13:30開演
●(昼の部)13:30開演
●(夜の部)17:00開演
●(昼の部)会員限定(無料)
●(夜の部)会員無料、会員同伴者:4,500円
一般:5,500円
◎福井新聞社 ささら事務局
☎0776-57-5180(平日9:30～17:30)

19 福井室内管弦楽団
第39回 演奏会
(日) ●小ホール ●13:30開演
●全席自由:1,000円(高校生以下無料)
◎福井室内管弦楽団 清水
☎090-1634-8793

24 Great Masters Series vol.6
～マリンバ界のレジェンド
安倍圭子を迎えて～
(金) ●小ホール ●19:00開演
●全席自由 一般:4,000円
学生(大学生以下):2,000円
◎Great Masters Series 実行委員会
☎gms@greenlab.jp

25 みんなのコンサート
(土) ●小ホール ●13:00開演
●無料(関係者のみ)
◎鈴木

26 ピアノ発表会
(日) ●小ホール ●12:45開演
●無料(関係者のみ)
◎佐々木
☎090-8093-4020

5月

1 ガルガンチュア音楽祭 in ふくい
アーティスト・ジャム ピアノ・リサイタル
(金) ●小ホール ●19:00開演
●60分(休憩なし)プログラム
●全席指定・車いす席:2,000円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

2 福井地区 吹奏楽祭
(土) ●大ホール ●10:00開演
●無料(関係者のみ)
◎福井市至民中学校 畑中
☎0776-35-8012

4 ジョイントコンサート IN 福井
【北陸・叡明・精華】(仮)
(月・祝) ●大ホール ●開演時刻未定
◎ピアノ・フェニックス福井ステーション 徳岡
☎0776-24-1773

5 Osaka Shion Wind Orchestra
福井特別演奏会
～邦人作品の饗宴～
(火・祝) ●大ホール ●16:00開演
●全席指定 一般:4,500円 学生:3,500円
◎Shion チケットセンター
フリーコール 0800-919-5508
(平日10:00～17:30)

6 ミュンヘン・ゲルトナー・プラッツ州立劇場
管弦楽団
(水・休) ●大ホール ●14:00開演
●S席:13,000円 A席:11,000円
●B席・バックシート・車いす席:8,000円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

清水雅彦・高橋かほる コンサート
～歌うピアノ・語る声 vol.2～
●小ホール ●17:30開演
●無料(要整理券)
◎高橋 ☎kaocchan.piano@gmail.com

8 ふれあい歌謡発表会
(金) ●小ホール ●13:00開演 ●無料
◎ふれあい歌謡交流会 印牧
☎090-8268-3244

9 高嶋ちさ子
カジュアルクラシックスコンサート
(土) ●大ホール ●14:00開演
●全席指定:7,800円
◎エンタメスタイル
☎076-256-5538(平日11:00～17:00)

増永美栄子歌謡教室 発表会
●小ホール ●10:00開演 ●無料
◎ふれあい歌謡交流会 印牧
☎090-8268-3244

16 アンサンブルmirai
10周年記念コンサート
～ありがとうをこめて～
(土) ●小ホール ●14:00開演
●全席自由:1,000円(高校生以下無料)
◎アンサンブルmirai 吉岡
☎090-1396-3768

17 竹島 宏 25周年の入り口 Jewel Box
～パールサファイア～
(日) ●大ホール ●13:00開演
●S席 8,000円 A席 6,500円
(当日各500円増)
◎核対フィスK
☎03-6416-8867(平日10:00～18:00)

福井オカリナアンサンブル
20周年記念コンサート
●小ホール ●14:00開演 ●無料
◎福井オカリナアンサンブル 正文
☎090-8266-3965

23 第3回 能登半島復興支援
吹奏楽チャリティコンサート in ふくい
(土) ●大ホール ●13:30開演
●全席自由:1,000円
◎チャリティコンサート実行委員会・福井高校 上高
☎fhwind@gmail.com

24 福井交響楽団
第39回 定期演奏会
(日) ●大ホール ●14:00開演
●一般:1,000円 大学生以下:500円
◎福井交響楽団 事務局
☎fukui.fso@gmail.com

ピティナ・ピアノステップ
福井地区
●小ホール ●10:00開演 ●無料
◎ピティナ・フェニックス福井ステーション 徳岡
☎0776-24-1773

30 チェンバロの鬼才!
マチェイ・スクシュチュコフスキ
チェンバロ・リサイタル
(土) ●小ホール ●14:00開演
●全席指定・車いす席:3,000円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

31 福井プラスアカデミー
第49回 定期演奏会
(日) ●大ホール ●14:00開演
●大人:前売800円・当日1,000円
●高校生以下:200円
◎福井プラスアカデミー 事務局
☎fukuiplusakademie@gmail.com

アルル リトルコンサート 2026
●小ホール ●12:50開演
●無料(関係者のみ)
◎アルルの会 橋本
☎090-9444-5950

6月

5 森山直太郎 Two jobs tour 2025-26
【あの世でね】～[邦楽]と[Yeeehhaaaaaw!]～
(金) ●大ホール ●18:00開演
●全席指定:8,500円
◎キョードー北陸 チケットセンター
☎025-245-5100

ぴあ*ぴあーの 発表会
●小ホール ●19:00開演
●無料(関係者のみ)
◎大森かおりピアノ教室
☎0778-62-2580

6 第31回
Little Pianist Concert
(土) ●小ホール ●12:30開演
●無料(関係者のみ)

7 福井県三曲会
第47回「邦楽の会」
(日) ●大ホール ●13:00開演
●無料(要入場券)
◎福井県三曲会 事務局
☎0776-52-0072

13 ふれあいコンサート in ふくい
(土) ●大ホール ●14:00開演
●無料(抽選による)
◎自衛隊 福井地方協力本部
☎0776-23-1910

14 第102回 福井県合唱祭
第49回 全日本おかせんコーラス福井県大会
(日) ●大ホール ●10:00開演
●全席自由:700円
◎福井県合唱連盟 大瀬
☎0778-51-5856

ピティナ・ピアノコンペティション
福井地区予選
●小ホール ●10:30開始
●無料(関係者のみ)
◎ピティナ福井支部(MPC楽器センター福井)
☎0776-52-0711

19 YAMATO String Quartet
(金) ●小ホール ●19:00開演
●全席指定:6,000円
◎福井テレビ コンテンツ事業部
☎0776-21-2235(平日9:30～17:30)

20 原田慶太楼指揮
東京交響楽団
ピアノ:牛田智大
(土) ●大ホール ●14:00開演
●S席・車いす席:7,000円
A席:6,000円 B席:5,000円
バックシート:3,000円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

21 こどものためのピアノフェスティバル 2026
福井地区予選
(日) ●小ホール ●12:00開始
●無料(関係者のみ)
◎森島山楽器 ☎0776-54-1023

27 バリアフリーコンサート 2026
～音楽でめぐる 小さな大冒険～
(土) ●大ホールステージ
●①11:00開演/②14:00開演
●ステージ席(全席自由):1,000円
●障がい者手帳等をお持ちの方:800円
(いずれも0歳～高校生:半額)
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

福井合奏団 第61回 定期演奏会
●小ホール ●17:00開演
●一般:2,000円 小中高生:1,000円
(当日各500円増)
◎福井合奏団 橋本
☎080-3043-4879

28 ふくい Wind Brass
第9回 定期演奏会
(日) ●大ホール ●14:00開演
●無料(要整理券)
◎ふくい Wind Brass 新谷
☎090-4321-5491

2026 ぶちぶちあひのコンサート
●小ホール ●19:00開演
●無料(関係者のみ)

福井ゆかりの音楽家 越のルビーアーティスト 竹内真紀 (ピアニスト)

ふるさとと未来をつなぐ
今の自分をつくってくれた福井で、
新しい扉を開ける。

兄の影響でオルガンに触れ、
4歳でピアノを習い始めた竹内
さん。地元の高校に通いながら
京都の師匠のもとで研鑽を積
み、東京藝術大学へ入学しまし
た。「友と音楽し、笑い、悩み、
学んだ。すべてが全力だった」と
と当時を振り返ります。

参加やイギリス人奏者との共演
に刺激を受け、「より広く人間、
芸術、文化に触れたい」とロン
ドンへ留学。「破格な表現や価
値観に採られ、これまでの常識
を根底から覆された2年間」と
語ります。帰国後はソロや室内
楽、音楽祭などで活躍してきま
した。地元・福井でも「越のル
ビーアーティスト」の立ち上げ
前から事業に深く関わり、音楽
を届けてきた一人です。



2024年10月6日「秋の子ども音楽会 あけてみよう♪音の宝箱」ヴァイオリン:藤崎美乃氏、チェロ:金子鈴太郎氏
卒業試験Final Recital直後、師匠 Ian Fountain との1枚。

■今後の活動
4月26日(日) フランスピアノ音楽作品展 ～第2回 モーリス・ラヴェルを中心として～
会場:自由学園明日館(東京)
6月17日(水) マンスリークラシック in ULO 会場:ULO(福井市)



たけうちまき ●福井市出身。東京都在住。東京藝術大学大学院修了。英国王立音楽院修了。North London Piano School グランプリ獲得。アンドラ公国国際ピアノコンクールでスペイン音楽賞受賞。ソロ、室内楽、歌曲などのリサイタルを行い、軽井沢八月祭や東京・春・音楽祭などの音楽祭に出演。東京藝術大学、日本女子大学非常勤講師を経て、コンクール審査など後進の指導にもあたる。

その実感が今、新しい活動の
原動力となっています。近年、
竹内さんが「音楽でできる新し
い扉」として注目しているのが、
どんな個性を持つ人も等しく楽
しめるインクルーシブコンサ
トです。今年度、事業団の研修

「心を動かすひとときは、誰に
とっても必要なもの。かつての
私がそうだったように、思いき
り音楽を感じ、夢中になってほ
しい」——自分を育ててくれた
福井で、今度は竹内さんが、誰
しもの心に響く新しい扉を開き
ます。



公式ホームページでは
「越のルビーアーティスト」の
演奏動画もご覧いただけます。
<https://www.hhl.jp/artistbank/>

越のルビーアーティストとは、(公財)福井県文化振興
事業団運営の「越のルビーアーティストバンク」に登録
する福井県出身もしくは在住のプロの演奏家のこと。
このアーティストバンクの活動に(公財)げんでんふれ
あい福井財団にご支援をいただいております。

※□部は、当ホールの自主公演でP.3～P.7に見どころなどが紹介されています。(6/27を除き、小学生から大学生まで半額)
※掲載内容は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。(3/4時点の情報です) ※チケットに関するお問い合わせは、各主催者までお願いします。

すべての人が楽しめる!

ふくい文化創造センター 活動ニュース

「ふくい文化創造センター」では、文化芸術に関する専門スタッフが、文化団体の活動の相談に応じたり、誰もが文化芸術を楽しめる環境づくりを行っています。今回はインクルーシブ研修プログラムについて、ご紹介します。

インクルーシブ研修プログラム ～共に支え合う社会の実現に向けて～

障がいの有無にかかわらず、誰もが楽しめる文化芸術イベントの運営について、先進的な取り組みを行う横浜みなとみらいホールと、同ホール館長の新井鷗子氏を監修に迎え、年間を通して7回の研修プログラムを行いました。

第1回 インクルーシブ概論 6.13[金]

芸術を通して誰もが
社会に参加できるようにする

2024年に改正・施行された障害者差別解消法により、物理的環境やルール等の柔軟な変更等、合理的配慮が社会的に義務付けられていることについて、知識として学ぶとともに、東京藝術大学や横浜みなとみらいホールなどで新井氏と取り組む具体的な事例をご紹介いただきました。公共施設・音楽ホールの使命として、またホールの社会的価値として、芸術を通して誰もが社会に参加できるようにするために「芸術がどうあるべきか」考えが深まる講座でした。

講師 新井鷗子氏
東京藝術大学客員教授(インクルーシブアーツ)、横浜みなとみらいホール館長



第2回 インクルーシブな コンサートのつくりかた 8.28[木]

視覚障がいのある方々の
生の声から学ぶ

講師のお二人から横浜みなとみらいホールで実践している企画における「読みやすい色・配置」や「音声コード」「切り欠き加工」といった広報の工夫や鑑賞サポートなど、インクルージョンで重要な「情報保障」について学びました。視覚障がいのある方々からの生の声を聞くことで、越のルビーアーティストと県内公共施設スタッフら受講生は、今後自身のコンサートでの展開を想定しながら身を乗り出してグループディスカッションに参加していました。



講師 新井鷗子氏
藤井聡子氏
横浜みなとみらいホール事業企画グループ長

第3回、第4回 出張音楽堂 10.10[金] 12.22[月] ドラムサークル体験会 9.30[火]

出張音楽堂・ ドラムサークル体験会の見学研修

誰もが楽しめる空間をどうつくるか

「出張音楽堂」と「ドラムサークル体験会」の現場での視察研修を通じ、出演者やファシリテーターから、会場が一体となって「音」を楽しむ空間をどのような工夫を凝らしてつくり出した

かなどを伺い、インクルーシブな事業運営は、単なる仕組みづくりではなく、目の前の相手と呼吸を合わせることから始まるのだと深く学びました。



第5回 箏曲家 澤村祐司への インタビュー会 10.30[木]

底抜けに明るいトークショー、
「困っているのは誰か」を考える会

澤村さんは子どもの頃に箏と出会い、小学校6年生の時に東京藝術大学で箏の大合奏に参加したことが、奏者への道を歩む大きなきっかけとなったそうです。演奏活動で各地へ向かう際は、鈍行列車に乗って地域の方とその方言に触れ、エリアごとに移り変わる「なまり」や地方駅の発車アナウンスなどに耳を澄ませているそうです。舞台上でそれらを見事に再現し、お客様の笑いを誘っていました。

インタビュー会後は、特別支援学校に勤務経験のある吉川佳代先生に多様な子どもたちの特性を話していただきました。こちら側が構えることなく「本当に困っているのは誰なのか」を考えれば必ずと答えが見えてくるようです。

講師 箏奏者 澤村祐司氏



第6回 11.28[金] アテンド研修



見えない世界から見えてくるもの

実際にお客さまをお迎えする大ホール客席で、車いすやアイマスクを用いて、案内する側・される側の立場で、場内移動やお化粧室利用時の案内などを体験しました。日ごろ見えていたつもりが、そうではなかったということに気づき、実りの多い研修になりました。

講師 福井県文化振興事業団スタッフ

第6回 11.30[日] バリアフリーコンサート2025 ～冬、そしてクリスマス～

安心して居られる場に…

出演者全員が全てのインクルーシブ研修を受講し、プログラム構成や字幕などの鑑賞サポート等、事前準備に念入りに取り組んだバリアフリーコンサート。「終演まで客席で聴けるかしら…」と心配そうに入場されたお客様も、思い思いの座席に着席し、舞台上でのパフォーマンスへの感想を伝えあいながら、穏やかな雰囲気の中でコンサートを満喫されていました。

出演者 中田けい、前川明音、伊藤明美、長谷川佳子

司会者 酒井晴美、谷内由美子



第7回 3.7[土] 3.15[日]

アテンド研修&「ミュージック・イン・ザ・ダーク® ~闇に響く音~」

暗闇の会場で奏者と観客が一体となって「音」に集中する時間

東京藝術大学の研究の一環で2015年に始まり、今年横浜みなとみらいホールにて10回目の公演を行った「ミュージック・イン・ザ・ダーク®」。2月に開催された横浜公演の際には、当館スタッフが現地で研修を受け、当館での開催直前の3/7には伝達講習・研修を行いました。視覚障がい者にとって「空間認識」のために重要な「音」。皆が障がいについて考えるきっかけとなるコンサートでした。

レポート

アーティストによる福祉施設訪問事業

福井県ゆかりのアーティストが福祉施設を訪問し、音楽や演劇、アートなど多彩なプログラムをお届けする事業を実施しました。文化施設に足を運ぶことが難しい方々にも、身近な場所で芸術に触れていただく機会となり、皆さんから大変ご好評をいただきました。文化芸術が身近にあることで生まれる喜びやつながりを、改めて感じる機会となりました。



9月24日 辻 順子さん(画家)
多機能型事業所フィールド(障害福祉サービス事業所)。



11月22日 木下園子さん(フルート奏者)
理学療法士のサービスPEP(高齢者向け施設)。

きらきら☆きらりアート展

本展は県内で活動する障がいのあるアーティストと未就学児の作品に焦点を当て、2025年11月から2026年3月にかけて、ハーモニーホールふくい2階展示ギャラリーで開催されました。長谷光城氏(NPO法人若狭美&Bネット理事長、熊川宿若狭美術館長)を監修に迎え、緻密な描き込みや大胆な色づかいの、自由な表現を行うアーティストたちの作品が約80点展示されました。



11月9日に行われた長谷光城氏のギャラリートークの様子。

問い合わせ・相談はコチラへ



公益財団法人 福井県文化振興事業団
ふくい文化創造センター

TEL.0776-38-8280
(9:00~12:00/13:00~17:00・休館日を除く)



キーパーソン

「うらのこのうの」
代表 田上夏伊さん



たがみ・かい ●1996年福井市生まれ。横浜の大学・大学院で建築を学び、特に「エコミュージアム(地域をまるごと博物館とする考え方)」を研究。2021～24年、福井県南越前町の地域おこし協力隊として赴任中に「うらのこのうの」を設立。現在、福井市内の建築設計事務所に勤めながら、河野での活動を続けている。

「河野の裏が、おもしろい。」を可視化する活動は
地域住民との関係性の蓄積があればこそ

「地域をまるごと博物館に」。そんな
大きな展望を掲げ、南越前町河野で活
動する団体が「うらのこのうの」です。代
表の田上夏伊さんは、地域おこし協力
隊として同町に赴任。住民と話すうち
に、「自分が聞くだけではもったいな
い」と感じ、まち歩きイベントや冊子
作りを開始。協力隊退任後も活動を継
続しています。

団体名には2つの意味を込めまし
た。「ひとつは日常の裏側。北前船と
いう表の観光だけでなく、すぐ隣にあ
る豊かな漁村生活の風景を伝えたい」
と田上さん。もうひとつは福井の方言
で「私」を意味する「うら」たちの物語に
光を当てたいという思いです。

まち歩きイベントでは、住民が案内
人を務めます。当初は「紹介するもの
なんてない」と話していた住民も、い
ざ説明を始めると長年の記憶があふれ
出し、話が止まらなくなるほど。「地
域外からの参加者が楽しむことが重要



まち歩きイベント「このこのこのうの」の様子。年に4回程度実施し、各回約20名ほどで異なる地区を巡った。



ローカルガイドブック「うらのこのうの」の制作のため、住民の案内で漁港を取材している様子。

なんです。住民にとっては当たり前
なことにも新鮮な目で感想をくれる。こ
の視点の交換が地域の魅力を再解釈す
る機会となり、住民の地域への再発見
や、愛着につながる「と言います」。

これまでで嬉しかったことのひとつ
は、住民が自主的に古い写真を集め、
公民館で展示を始めたこと。「僕らが
やるのは簡単ですが、それでは継続し
ない。住民が面白がって、自発的に動
くこと。地域が博物館のようになるた
めの小さな一歩です」。活動を通じ、
住民との信頼関係はより強固に。将来
的には空き家調査などの地道なりサー
チに基づき、より具体的な「エコミュー
ジウム構想」をまとめる予定です。有
志のクリエイターも加わって発行する
冊子では、地域への敬意を込めて田上
さんが手描きした扉絵を掲載。多くの
人々の、小さいけれど深い思いを積み
重ね、大きな構想は河野の路地から一
歩ずつ形になり始めています。

「うらのこのうの」南越前町河野地区を舞台に
「地域をまるごと博物館」化を目指すプロジェ
クト。まち歩きイベント「このこのこのうの」、ガイ
ドブック「うらのこのうの」の発行。2024年3月
設立。

■活動報告はこちらから
urano_kono

※アートプロジェクト支援事業助成金の採択事業と活動者をご紹介します。

文化活動に対する支援制度のご紹介

県内には、地域で行われている文化活動を応援する、さまざまな助成制度があります。

今年度、新たに、文化活動への助成を行っている団体同士がつながり、情報を共有しながら支援を進めていく「ふくい文化活動助成団体ネットワーク」※がスタートしました。助成制度ごとに、対象となる活動や条件、助成金額などにはそれぞれ特徴があります。活動の内容や状況に合わせて、ぜひご活用ください。

「どの助成制度が合っているのか分からない」「もう少し詳しく話を聞いてみたい」などのご相談は、ふくい文化創造センターで随時、受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

【相談窓口】TEL.0776-38-8288(9:00～12:00/13:00～17:00・休館日を除く)

※加盟団体：(公財)げんでんふれあい福井財団、福井県民生協同組合、福井信用金庫、(一財)三谷市民文化振興財団、福井県、(公財)福井県文化振興事業団

助成金名	支援の趣旨	募集時期	詳細HP
(公財)げんでんふれあい福井財団助成事業	文化・芸術団体の活動や芸術公演・展示開催などを助成しています。	12～2月頃	
福井県民生協市民活動助成金	食育、環境、福祉、子育て支援、その他幅広い社会貢献活動分野のNPO・市民団体の活動を応援しています。	12～1月	
(公財)ふくしん地域振興協力基金	地域社会の活性化および振興発展に寄与することを目的として、助成活動を行っています。	3～4月頃	
三谷市民文化振興財団助成事業	ボランティア活動、スポーツ活動、市民文化活動の振興を通じて「こころ豊かな地域づくり、社会づくり」を応援しています。	10～11月頃	

助成事業の例



日本の伝統楽器である箏・三絃・尺八で奏でる音楽を体験するフェスティバルの様子。



坂井市内の小学校と連携した環境教育の実施風景。子どもたちが田植えと稲刈り作業を体験しました。



市民合唱団による定期演奏会の様子。

アートプロジェクト インフォメーション

ふくいアートプロジェクト助成金のお知らせ ※募集要項等の詳細は、「福井県 文化課」のウェブサイトをご覧ください。

地域の「担い手」が中心となり、住民やさまざまな団体を合わせながら、文化芸術ならではの自由で柔軟な発想を生かしたアートプロジェクトが県内各地で生まれています。福井県ではこうした取り組みが地域に浸透・定着し、未来に向けた活力を育んでいくことを目的に、令和8年度ふくいアートプロジェクト助成金の募集を行いますので、ぜひご応募ください。

- 対象団体：福井県内に主たる活動拠点を置く2名以上の団体(法人格の有無は問いません)
 - 助成金額：20～200万円
 - 募集期間：令和8年3月19日(木)～4月9日(木) ※メールにより提出。17時必着。
 - 提出・お問い合わせ先：福井県交流文化・スポーツ局文化課
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
メール：art@pref.fukui.lg.jp TEL.0776-20-0582
- ※本募集は、令和8年度福井県当初予算成立により効力を生ずるものとします。



(公財)福井県文化振興事業団のホームページでは助成事業の一覧をご覧ください。

彫刻家・雨田光平と高田博厚

文化の中に本質を見出す二人



雨田光平(右)と高田博厚。背面にあるレリーフ像は雨田作。

1893(明治26)年に福井市で生まれた雨田光平と、1900(明治33)年に石川県七尾市で生まれて2歳から福井市で育った高田博厚。

は思想や芸術評論などの文筆家として大きな足跡を遺している。雨田は、現在の東京藝術大学で基礎から彫刻を学ぶとともに、箏曲京極流にも入門。卒業年に制作した作品が国に買い上げられるほどの実力を持ちながら、その表現に悩み渡米。そこでハーブと出会い、本格的に学ぶために渡仏する。

9年間の海外生活を経て帰国し、東京で制作発表や演奏活動を行ったが、52歳の時に戦災を避けて福井へ帰郷。彫刻家、箏曲京極流二代目宗家、福井でハーブ製造のきつかけをつくったハーブ奏者として、福井の文化振興に大きく寄与した。

オ・コンデイヴィイ著の「ミケランジェロ伝」を翻訳するなど、若くして語学に秀でていた彼は、西洋の哲学書なども原文で読み、思想の観点から「美」を見つめて独学で彫刻を学ぶようになった。渡仏して多くの名だたる知識人との交友と制作によって思索。57歳で帰国してからは、東京・鎌倉を拠点に講演や執筆、制作活動を精力的に行った。福井で育った彼らがともに西欧の文化・思想に触れ、あらゆる活動の中で自己を深め、なおかつ人の内面探求をしていたことは似通っている。そして互いに一つのことに打ち込む職人気質ではなく、広く大きな視点で物事を捉え、友人たちとの豊かな交流時間を大事に芸術の道を歩んだことも同じであった。違いがあるとすれば、雨田は故郷福井で地域社会に、高田は東京を主として中央社会に貢献したことである。

それについては今後も各専門領域で様々な研究が進み、生活様式も変わってくるだろう。それらの有り様は別として、彼らは自己を知ること、思いやりという美徳を大切にしながら、流行に惑わされず、文化の中に本質を見出すことに努めた。それは現代の我々にとっても実に重要なことで、外を知ることが内を確かなものにするところからでもある。晩年の雨田は「物と心が一つになっていく楽しさ」を生きた甲斐とした。私はこれこそが文化の礎だと思ふ。どのような活動でも、個人の心や技が他人に波及して拡がり、続いていくことで文化は形成される。人はいかに文明が発達しようとも、人が育んだ文化を理解し、大切にしなければならぬ。そして後世にきちんと伝えて地域を守り、発展させることである。益々本物と偽物との区別がつきにくい現代になったからこそ、個々が目に見えない本質を、文化を通して見極めていかなければならない時代になったと思う。

福井市美術館学芸員
石堂裕昭



いしどう・ひろあき●1964年岡山県津山市生まれ、東大阪市出身。愛知県立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。91年福井市入庁。市の文化振興と美術館建設に携わる。97年福井市美術館の開設時から学芸員となり、副館長、館長、専門幹を経て、現在は再任用学芸員。

古きを訪ねて

合葉の神祭り(坂井市)



- ①大きなおにぎりは、炊いたご飯を布に包んで締め握る。昔はおにぎりを作るのは男性と決まっていた
- ②神主により祝詞が上げられる。その後区長、農家組合長、氏子総代、当番宿が玉串を捧げるが、世帯数が少なく役割が重なる家も多いそう
- ③新年4日の左義長に持ち込まれるのは、1年間自宅で保管していた前年の正月飾り。「一番早く一番遅い左義長」ともいわれる所以。高齢者や一人暮らしの家が増え、左義長は今年を最後に廃止の予定

作物の豊凶を占う伝統の祭り

穀倉地帯として知られる嶺北・坂井平野の中ほどに位置する、坂井市坂井町島の集落。氏神である春日神社の境内には田の神「合葉の神」をまつる祠があり、1月4日にその年の豊作を祈る祭りが行われています。

島地区は古くは福井藩主の鷹狩りの場所。行事はこの頃から約400年伝わりとされます。祭り当日、集落の「当番宿」の家は早朝から2升の米を炊き、1升分のご飯を使った巨大なおにぎりを2つ作って、漬物に見立てた大根と共にご供えます。このおにぎりを野鳥などが食べて早々になくなると豊作になるとされ、かつては近隣の村から「今年の島の、あいの神はどうか」と尋ねられることも多かったそう。

神事は区民が見守る中、神主が祝詞を奏上し、代表者が玉串を捧げます。続いて境内で左義長が行われます。笹竹を囲む「こも」や縄などは代々伝わる



■春日神社/坂井市坂井町島



器具を使って当番宿が編み、区長らと一緒に組み上げます。その年の吉方から火が点けられると、燃え上がる炎の中に住民は正月飾りなどを投げ入れ、無病息災を祈ります。祭りは地区の子どもたちにとっても待ち遠しいものでした。以前は節分に行われていて、子どもが家々を回っておにぎり用の米を集め、当日、小中学生は2限目で早退。開始時刻が近づく「左義長囃すぞ」と集落の家々に知らせまします。そして子どもたちは当番宿の家に集まり、昼と夜をこちそうになりながら年齢に関係なく一緒に遊ぶ、年の始めの一番の楽しみでした。現在、島地区の世帯は17軒。高齢化、少子化で普通りの祭りをを行うことは年々難しくなっていますが、「工夫しながらできる形で伝統をつなげていきたい」と、今年の当番宿の岡崎重治さんは言います。

平日午後のおトクな企画「ハーモニーブンカさろん」

芸術文化や食に触れていただける人気企画。ブンカにまつわるお話と演奏をお聴きいただけます。県内各店のスイーツやコーヒーを、終演後にホワイエにてお楽しみいただけるのも魅力のひとつ。

- 7/14 (火) 第37回 イタリア・バロック芸術の世界
時間 / 13:30開演
出演 / お話：芹川貞夫(元福井県立美術館長)、演奏：越のルビーアーティスト(予定)
- 10/6 (火) 第38回 「皇帝」を「弾く」ということ一強さと酔けさのあいだで
時間 / 13:30開演
出演 / お話・演奏：金子三勇士(ピアノ)
- 12/15 (火) 第39回 ドヴォルザークの眼差し一故郷ボヘミアからヨーロッパ、そして新世界アメリカへ
時間 / 13:30開演
出演 / お話：小宮正安(ヨーロッパ文化史研究家)、演奏：越のルビーアーティスト(予定)



2025年の公演から
 〈料金〉全席自由：2,500円
※スイーツ付きチケットの購入は一人様2枚まで
 〈発売日〉友の会会員発売は1日後、一般発売は4日後
 第37回：5月19日(火)
 第38回：8月25日(火)
 第39回：10月6日(火)

お問い合わせ (公財) 福井県文化振興事業団 事業部 TEL.0776-38-8289 (9:00~12:00 / 13:00~17:00・休館日を除く)

〈だれでもピアノレッスンカフェ 全6回&発表会〉開催のお知らせ

右手でメロディーを弾くだけで伴奏とペダルが自動で寄り添い、華やかなアレンジに。誰もがピアニストになれる「だれでもピアノ」で「弾いてみたい」を叶えてみませんか？リラックスした雰囲気の中で行うグループレッスン。「だれでもピアノ」の発案者・新井鷗子さん(東京藝術大学客員教授、横浜みなとみらいホール館長)監修のもと、一人一人のレベルに合わせてレッスンをを行います。音楽を通して、幸福度をさらに高めましょう。

日 時 / 5月28日(木)、6月4日(木)、6月11日(木)、6月18日(木)、6月25日(木)、7月2日(木)
 発表会 / 7月9日(木)
 時間 / Aグループ 13:00~14:30 Bグループ 15:00~16:30
 会場 / ハーモニーホールふくい リハーサル室(初回・成果発表会：大ホール)
 講師 / 新井鷗子(横浜みなとみらいホール館長)、竹沢友里(越のルビーアーティスト・ピアニスト) 他
 参加費 / 無料
 募集人数 / 10名 ※5名×2グループ(応募者多数の場合は抽選し、メールにてご連絡します)
 参加条件 / 以下の①~⑦にすべて当てはまる方



〈募集期間〉4月8日(水)~5月8日(金)
 〈申込先・問合せ〉
 福井県文化振興事業団 だれでもピアノ係
 TEL.0776-38-8280
 E-mail : darepiano@hhf-cf.or.jp

Essay

考え続ける文化を
手放さないこと

AI(人工知能)の普及があまりに急速に進んでいることを実感する日々である。文章を書くこと、情報を整理すること、何かの答えを導き出すことなど、かつて相応の苦勞を伴ったプロセスが、今や驚くほど容易になった。

その波は創造の領域にも及んでいく。例えば、簡単な指示を与えるだけで、どこかジブリを思わせる雰囲気のアラストが生成されたり、有名作曲家の作風を連想させる音楽が瞬時に作曲できたりする。完成度も高く、専門的な訓練を受けていない人でも、容易にそれらしい成果にたどり着くことができる。

メディア論で知られるマーシャル・マクルーハンは、「メディアはメッセージである」という言葉を残した。メディアとは単なる情報伝達の器ではなく、それ自体が人間の知覚や思考の枠組みを変容させ、新しい社会を作り出す装置であるという指摘である。これまでも、ラジオ、テレビ、インターネットと、新しい



思考の過程に関わり始めたAI(写真はイメージです)

メディアが出現するたびに、社会の構造も人の考え方も変容してきた。AIもまた、その延長線上にあるに過ぎないという見方もできる。ただ、AIがこれまでのメディアと決定的に異なるのは、人間から思考の過程そのものを奪い去ってしまう点にある。問いを立て、言葉を吟味し、悩みながら結論へ至る。その過程をまるで無価値なものとしてショートカットできてしまう。プロセスを欠いたまま「正解」だけを手にし続けることが、長期的に見て人間にどのような影響をもたらすのかは、まだ見えていない。

文化とは芸術や歴史遺産だけを指す言葉ではない。思想をもち、考え、迷いながら生きてきた人間の営みの総体こそが、広い意味での文化だと考えている。人間が人間として生きる過程で培われてきた思考や態度もまた、文化の一部である。

そうした視点に立つと、考え続けること自体が、文化の中核といえるのではないだろうか。考え続ける文

化は、芸術や学問だけでなく、社会の制度を支える基盤でもある。すぐに判断せず、立ち止まり、問いを持ち続けること。立場や考えの異なる人々とも、対話を通して理解を深めようとしてきたこと。その積み重ねの上に、私たちの社会は成り立ってきた。思考するプロセスが不要なものとして省かれ、用意された答えや分かりやすい成果に安易に飛びつく態度が広がったとき、私たちは何を失うのだろうか。

AIは、あくまで道具である。使い次第で、人間の創造性を拡張するツールにもなり得る。しかし現時点では、便利さと危うさのあいだで、AIと人間の共存の方向性に誰もが戸惑っているように思える。

AIが当たり前になる時代に必要なのは、「考え続ける文化」を手放さない姿勢である。それは効率の悪さや回り道を、あえて引き受けることでもある。すぐに答えが出ない問いに向き合う姿勢こそが、人間を人間たらしめるのではないだろうか。

文 朝倉由希



あさくらゆき ●福井市生まれ・在住。京都大学文学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科応用音楽学博士後期課程修了。博士(学術)。アートマネジメント、文化政策を専門とする。2017年度から文化庁地域文化創生本部研究官。2021年4月から公立小松大学国際文化交流学部准教授。福井県芸術文化アドバイザー。共著に「文化で地域をデザインする―社会の課題と文化をつなぐ現場から」(学芸出版社、2020)など。

編集後記

情報誌季刊ブンカはおかげ様で100号を迎えました。「文化と出会い、新しい文化が創生される、それが季刊「ブンカ」です」と巻頭頁に見出しを添えたのは、初代県立音楽堂館長の小野光太郎氏。2001年の創刊にあたり「事業団が従来行ってきた各分野の文化振興事業に加え県立音楽堂の管理運営を併せて行っており、これらを県民の皆さまにわかり易く正確にお伝えし、皆さまの関心と理解が育まれ向上させる内容に」と語られました。25年を経て、初心を忘れることなく、音楽堂運営に加え県内の文化活動振興を行い、小紙にてそれらを多面的に紹介しています。小野氏の結びの言葉「良く働く日本人の代表ともいえる県民に、より高い文化性が加われば、日本一の県になれるだろう」との願いを持ち続け「ブンカ」をお届けします。

【ハーモニーホールふくい 特別協賛社ご芳名】 ※50音順
 公演協賛社(2026.4-2027.3)

URALA communications	関西電力 power with heart
(公)助げんでんふくれあい福井財団	Kaneda 興和江守株式会社
NICCA	FM FUKUI
福井銀行	FETV 福井放送
福井新聞社	福井信用金庫
福井テレビ	FBC
FUKUVI	株式会社増田喜
ますも証券	

法人協賛社
 JAKUETS 株式会社新内 福井県民協 福井銀行 福井県JAバンク
 福井信用金庫 福井フェニックスストア FUKUVI 北陸銀行 三谷商事株式会社